

脳神経内科

a. 体制

北野病院脳神経内科は日本神経学会認定教育施設であり、精神疾患を除くすべての中枢神経疾患、末梢神経疾患、筋疾患の診療を行っている。

脳血管障害については脳神経外科と共同で脳卒中センターを構成し、脳卒中学会専門医が24時間体制で脳卒中患者の診断・治療を行っている。緊急患者に対しては夜間や休日でも頭部MRIが撮影できる体制にあり、発症4.5時間以内の急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法(t-PA治療)も適応を厳密に判断した上でを行い、血栓溶解療法無効例に対してはカテーテルによる血管内血栓除去療法を脳卒中センターで施行している。

神経難病患者については、パーキンソン病、多発性硬化症、重症筋無力症などの患者受診数が関西で最も多い施設のひとつである。

パーキンソン病についてはドパミン補充などの薬物療法に加えて、刺激発生装置や薬剤注入ポンプを用いるデバイス補助療法をおこなっている。脳神経外科と共同で手術的治療（視床下核や淡蒼球に対する深部脳刺激術DBSなど）、本態性振戦に対してMRIガイド下集束超音波治療(MRgFUS)を施行している。内服治療を工夫しても一日の薬効が不安定な症例に対しては、レボドパ・カルビドパ配合経腸用液療法(LCIG)やホスレボドパ・ホスカルビドパ水和物持続皮下注療法(CSCI)を行っている。

重症筋無力症については呼吸器外科と協力して手術適応例について胸腺・胸腺腫摘出術を行い、薬物治療をおこなっている。

筋疾患に関しては、針筋電図検査や筋生検を施行し、適切な治療をおこなっている。

さらに認知症、てんかん、慢性頭痛の診断や治療、末梢神経免疫疾患(ギランバレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎CIDPなど)に対する免疫グロブリン療法などを施行し、多岐にわたる神経疾患の治療で効果を上げている。

医学研究所では神経変性疾患の分子病理学的研究、パーキンソン病における薬物治療とデバイス補助療法の予後比較、非運動症状に対する薬物治療効果の検討を行っている。

主任部長、神経センター長

金子 鋭

副部長

小松 研一

副部長

宮本 将和

副部長

樽野 陽亮

副部長
奥田真也

副部長
後藤昌広

医員
辻村敦史

専攻医
北村算英

専攻医
吉田匡伸

専攻医
石田光拡

専攻医
前田達也

b. 診療実績

2023 年度入院患者数 794

疾患別の内訳

疾患名	入院患者数
脳血管障害	220
認知症	26
パーキンソン病・関連疾患	242
運動ニューロン病	15
末梢神経疾患	38
重症筋無力症	35
多発性硬化症・視神経脊髄炎	13
髄膜炎・脳炎	29
てんかん	46

c. 学会・講演・著作その他の研究活動

【学会】

- 1 石田光弘, 宮本将和, 小松研一, 太田雅人, 金子鋭 遅発性放射線障害により首下がり症状を呈した 2 例 第 65 回日本神経学会学術大会 2024/5/31(東京)
- 2 石田光弘, 宮本将和, 小松研一, 前田達也, 北村算英, 吉田匡伸, 辻村敦史, 後藤昌広, 奥田真也, 樽野陽亮, 金子鋭 遅発性放射線障害により首下がり症状と嚥下・構音障害を呈した 1 例 日本神経学会第 128 回近畿地方会 2024/7/6(大阪)
- 3 前田達也, 小松研一, 石田光弘, 北村算英, 吉田匡伸, 辻村敦史, 後藤昌広, 奥田真也, 樽野陽亮, 宮本将和, 金子鋭 非絞扼部位での伝導ブロックが診断に有用であった悪性リンパ腫神経浸潤の 1 例 日本神経学会第 130 回近畿地方会 2025/3/2(大阪)
- 4 岡 良祐, 樽野 陽亮 , 金子 鋭 , 戸田 弘紀, 西田 南海子, 杉田 義人, 伊東 秀文, 阪田 麻友美 薬剤抵抗性振戦、ジスキネジアを呈するパーキンソン病患者に対してそれぞれ Vim-RF、Gpi-RF を施行した 2 症例 第 18 回パーキンソン病・運動障害疾患カンファレンス 2024/7/11(宇都宮)
- 5 Rie Tohge, Satoshi Kaneko, Norihiro Takenouchi, Yusuke Yakushiji Serotonergic targets for the treatment of levodopa-induced dyskinesia in hemi-parkinsonian rats 第 18 回パーキンソン病・運動障害疾患カンファレンス 2024/7/11(宇都宮)
- 6 前田達也, 後藤昌広, 辻村敦史, 奥田真也, 樽野陽亮, 宮本将和, 小松研一, 金子鋭 左房粘液腫に伴い発症した塞栓性脳梗塞の 1 例 日本内科学会第 247 回近畿地方会 2025/3/8(京都)
- 7 吉田匡伸, 後藤昌広, 前田達也, 石田光弘, 北村算英, 辻村敦史, 奥田真也, 樽野陽亮, 宮本将和, 小松研一, 金子鋭 仙骨硬膜外ブロック注射後に急激に対麻痺が悪化した硬膜外動静脈瘻の一例 日本神経学会第 129 回近畿地方会 2024/12/7(大阪)

【論文】

(総説)

- 1 小松研一 脳神経内科領域「日常診療で遭遇するしびれ」 日内会誌 2024 113 巻 P2157-2158 (査読なし)

【研究】

- 1 パーキンソン病患者における L-ドパ/DCI 配合剤治療へのセレギリンあるいはゾニサミドの上乗せ効果に関する無作為化比較第Ⅱ相試験
(jRCT 登録番号：jRCTs051180098)
(金子 鋭)
- 2 パーキンソン病患者の振戦に対する MRgVim-FUS の適応評価、有効性・安全性の解析研究
(金子 鋭、樽野陽亮、小松研一、宮本将和)
- 3 パーキンソン病に対する脳深部刺激療法の適応基準と認知機能、精神状態への影響に関する検討
(金子 鋭、樽野陽亮)
- 4 パーキンソン病に対する DAT (Device Aided Therapy: DBS, FUS, LCIG) の適応評価と有効性、安全性に関する研究
(金子 鋭、樽野陽亮、小松研一、宮本将和)
- 5 パーキンソン病患者におけるイストラデフィリンのジスキネジア発現に対する臨床研究
(小松研一、金子 鋭、樽野陽亮、古川公嗣、宮本将和)
- 6 神経内科診療における精神科連携の意義の検討
(小松研一)